

報道関係者 各位

2025 年 7 月 16 日

日 本 証 券 業 協 会

2024 年度末の「個人株主の動向」について

今般、2024 年度末の「個人株主の動向」について、各種公表資料に基づき、個人株主数の推移やその増減の要因等を取りまとめ、本協会ウェブサイトにて公表しましたので、お知らせいたします。

○ 本協会ウェブサイト「個人株主の動向について」

https://www.jsda.or.jp/shiryoshitsu/toukei/kojin_doukou.html

なお、今回の主なポイントは次のとおりです。

1. 個人金融資産に占める株式の状況

- ・ 個人金融資産残高は、2,194 兆円となり、内訳は、現金・預金が全体の 51.0%を占め、上場株式は 7.7%となった。【3 頁】

2. 個人株主数・個人株主一人当たりの保有銘柄数

- ・ 個人株主数（名寄せ人数）は、1,599 万人となり、過去最高値を更新。【8 頁】
- ・ 個人株主一人当たりの保有銘柄数は、5.2 銘柄と分散化が進んでいる。【8 頁】

3. 個人株主数の推移（年齢別人数）

- ・ 個人株主数（名寄せ人数）のうち、「20 歳以上 40 歳未満」が初めて 200 万人を超えた。【13 頁】
- ・ 個人株主数（名寄せ人数）のうち、「60 歳以上 80 歳未満」が 489 万人と最も多く、「40 歳以上 60 歳未満」が 484 万人と続く。両者の差は年々縮小しており、今年度の差は 5 万人となった（2014 年度の差は 94 万人）。【13 頁】

○ 本件に関するお問い合わせ先：政策本部 資産形成推進部（TEL：03-6665-6765）



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

個人株主の動向について

2025年7月
日本証券業協会



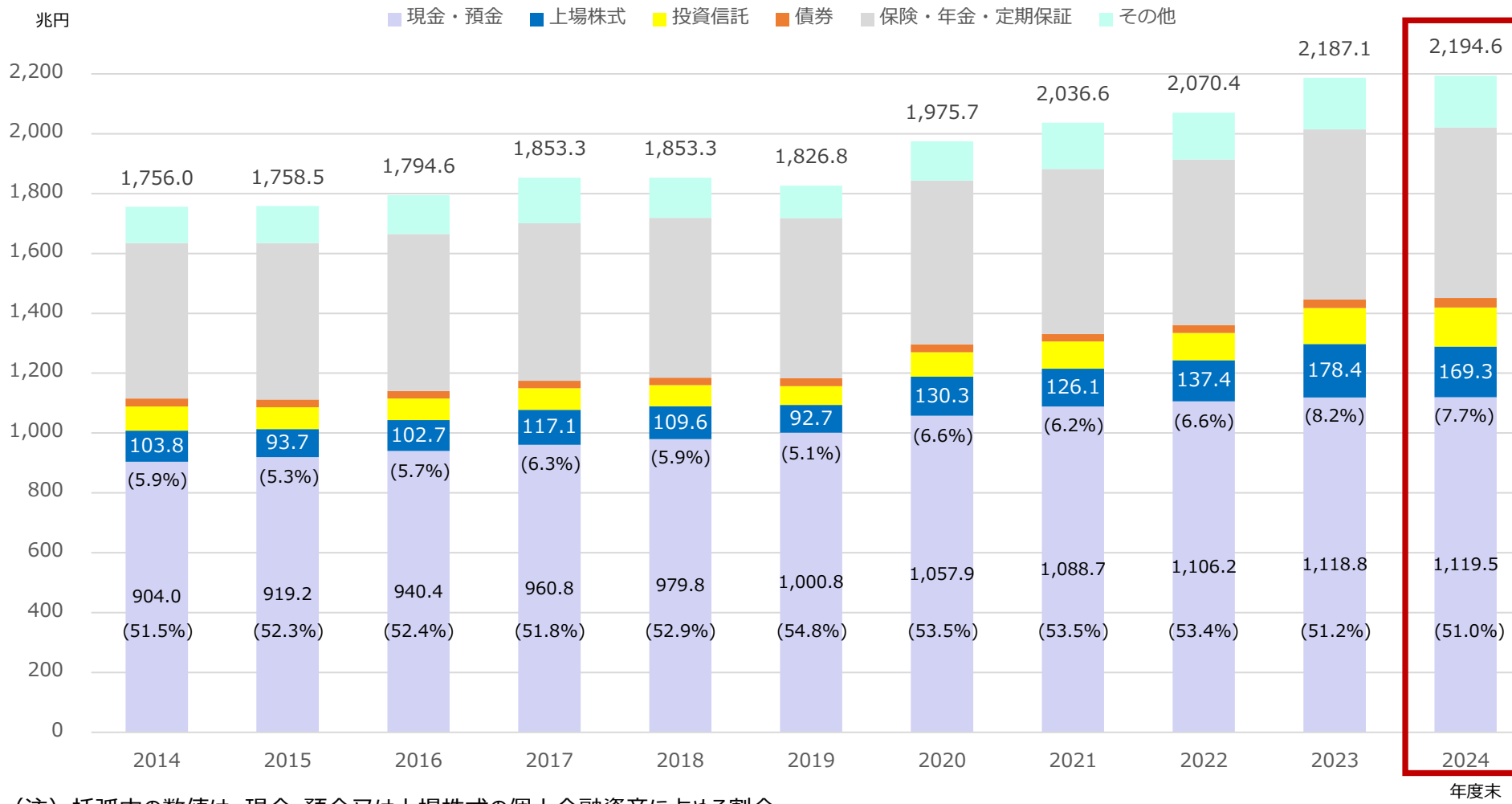
本協会では、2016年から毎年、個人株主数の推移やその増減の要因について、取りまとめ公表している。2024年度末の個人株主の動向は、大要以下のとおり

- 個人金融資産残高は、2,194兆円となり、内訳は、現金・預金が全体の51.0%を占め、上場株式は7.7%となった【3頁】
- 個人株主数(名寄せ人数)は、1,599万人となり、過去最高値を更新【8頁】
- 個人株主一人当たりの保有銘柄数は、5.2銘柄と分散化が進んでいる【8頁】
- 個人株主数(名寄せ人数)のうち、「20歳以上40歳未満」が初めて200万人を超えた【13頁】
- 個人株主数(名寄せ人数)のうち、「60歳以上80歳未満」が489万人と最も多く、「40歳以上60歳未満」が484万人と続く。両者の差は年々縮小しており、今年度の差は5万人となった(2014年度の差は94万人)【13頁】

1. 個人の株式保有状況

1-1 個人金融資産に占める株式の状況

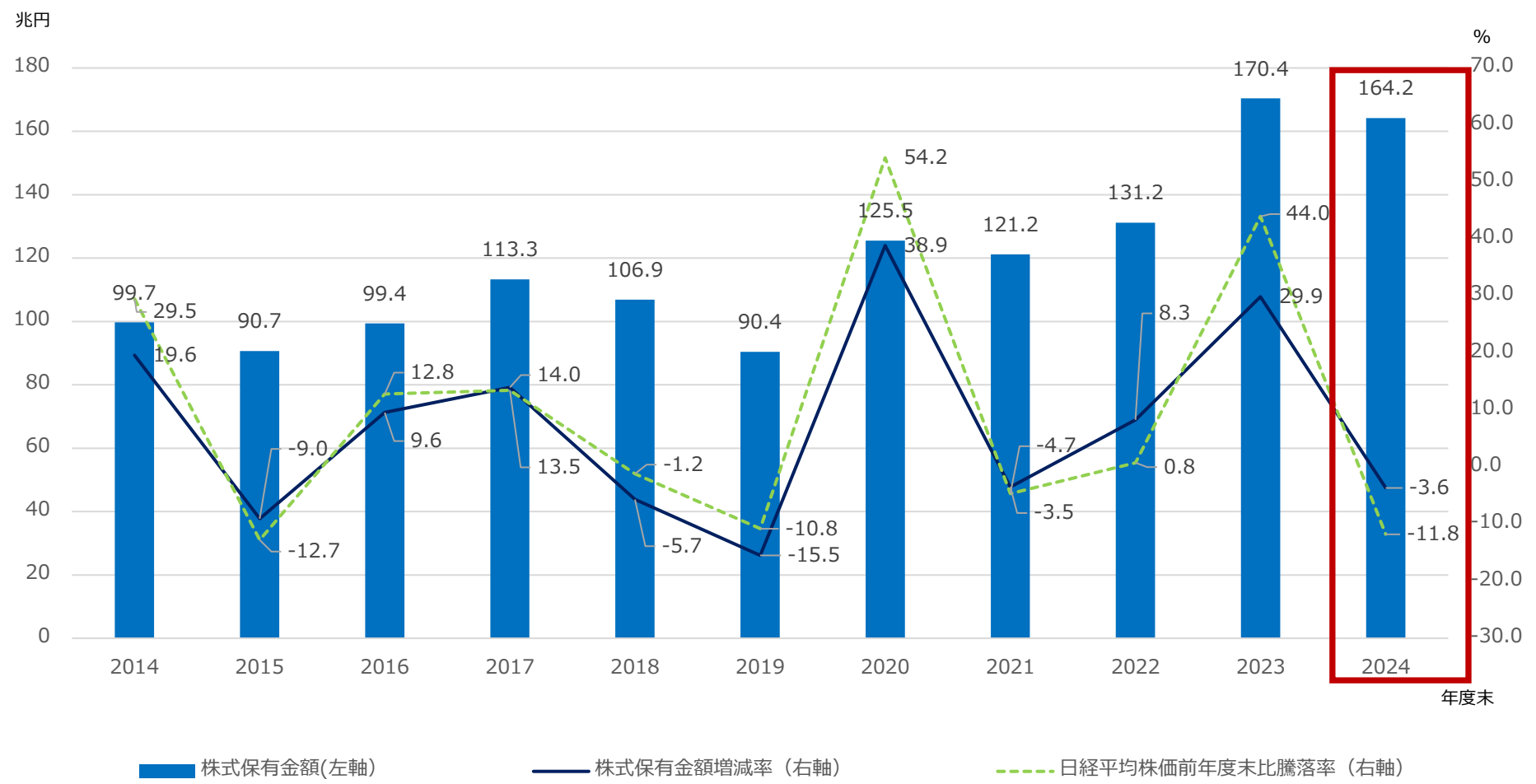
○2024年度末の個人金融資産残高は2,194兆円となった。内訳は、現金・預金が全体の51.0%を占め、上場株式は7.7%となった



(注) 括弧内の数値は、現金・預金又は上場株式の個人金融資産に占める割合。
(出所) 日本銀行「資金循環統計」(2025年6月27日公表データ)

1-2 個人の株式保有金額

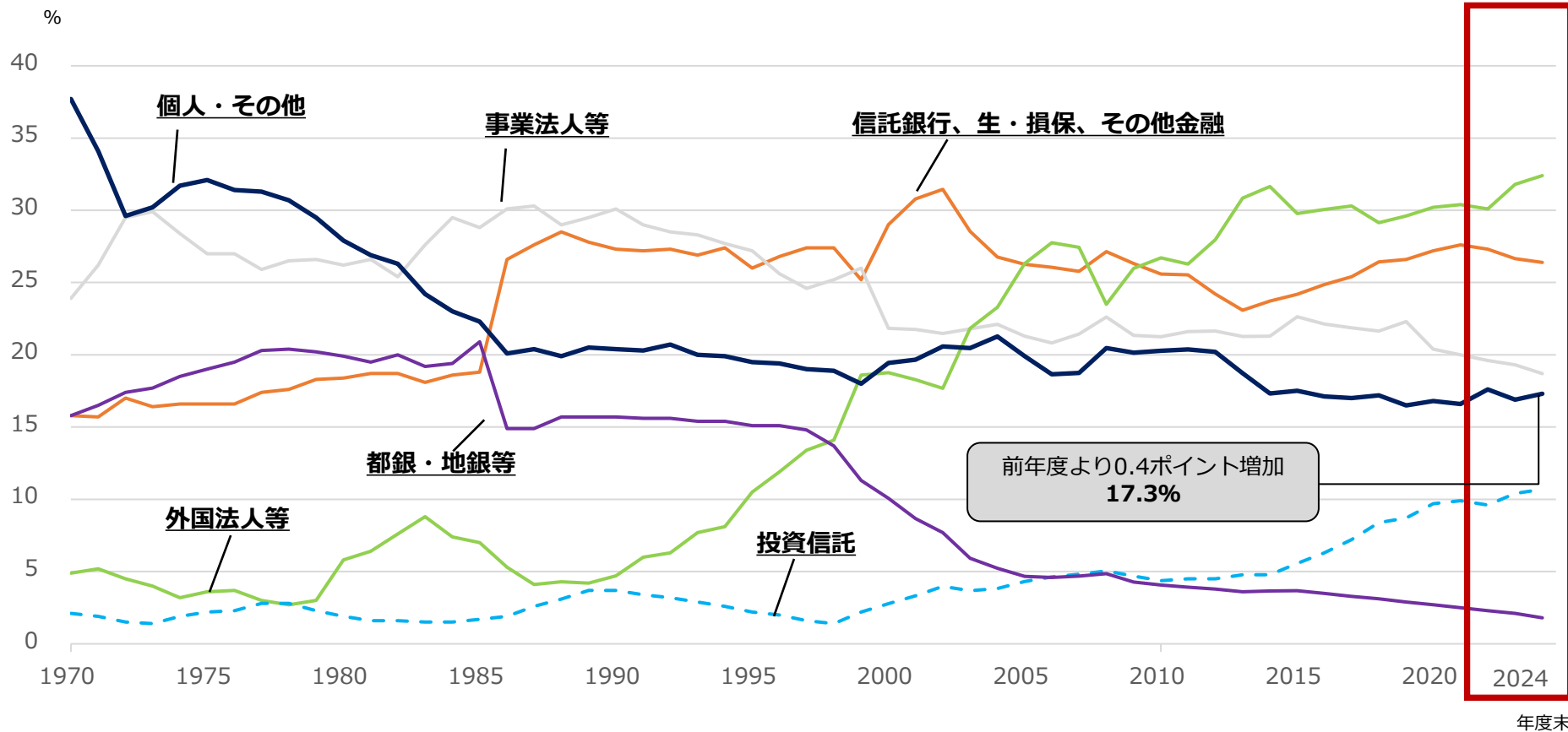
○2024年度末の個人の株式保有金額は、トランプ米政権の関税政策による株価低迷などの影響を受け、前年度比6.2兆円減の164兆円となった



(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」、日本経済新聞社

1-3 個人の株式保有比率(金額ベース)

○2024年度末の個人の株式保有比率(投資信託等間接保有分は除く)は、17.3%となり前年度末(16.9%)より若干(0.4ポイント)増加



- (注) 1. 1985年度以前の信託銀行は、都銀・地銀等に含まれる。
 2. 2004年度から2021年度まではJASDAQ上場銘柄を含む。2022年度以降は、その時点の上場銘柄を対象。
 3. 「投資信託」は、「都銀・地銀等」と「信託銀行」に含まれる内訳数値を表示。
 (出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

1-4 投資部門別の株式保有状況

○投資部門別の株式保有状況は以下のとおり

年 度	2023	2024	増減額[増減率]	保有比率増減
会 社 数(社)	3,984	4,022	38	-
合 計	億円 % 10,080,465 (100.0)	億円 % 9,480,471 (100.0)	億円 % △ 599,994 [△ 6.0]	ポイント -
① 政 府 ・ 地 方 公 共 団 体	16,143 (0.2)	16,045 (0.2)	△ 98 [△ 0.6]	0.0
② 金 融 機 関	2,911,317 (28.9)	2,684,713 (28.3)	△ 226,604 [△ 7.8]	△ 0.6
a 都 銀 ・ 地 銀 等	214,906 (2.1)	174,805 (1.8)	△ 40,100 [△ 18.7]	△ 0.3
b 信 託 銀 行	2,231,118 (22.1)	2,123,543 (22.4)	△ 107,574 [△ 4.8]	0.3
(a + bのうち投資信託)	1,051,632 (10.4)	1,013,785 (10.7)	△ 37,847 [△ 3.6]	0.3
(a + bのうち年金信託)	78,469 (0.8)	71,961 (0.8)	△ 6,507 [△ 8.3]	0.0
c 生 命 保 険 会 社	300,289 (3.0)	259,892 (2.7)	△ 40,397 [△ 13.5]	△ 0.3
d 損 害 保 険 会 社	92,160 (0.9)	60,338 (0.6)	△ 31,822 [△ 34.5]	△ 0.3
e そ の 他 の 金 融 機 関	72,842 (0.7)	66,132 (0.7)	△ 6,709 [△ 9.2]	0.0
③ 証 券 会 社	301,463 (3.0)	295,757 (3.1)	△ 5,706 [△ 1.9]	0.1
④ 事 業 法 人 等	1,941,895 (19.3)	1,773,391 (18.7)	△ 168,504 [△ 8.7]	△ 0.6
⑤ 外 国 法 人 等	3,204,750 (31.8)	3,067,705 (32.4)	△ 137,045 [△ 4.3]	0.6
⑥ 個 人 ・ そ の 他	1,704,893 (16.9)	1,642,858 (17.3)	△ 62,034 [△ 3.6]	0.4

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

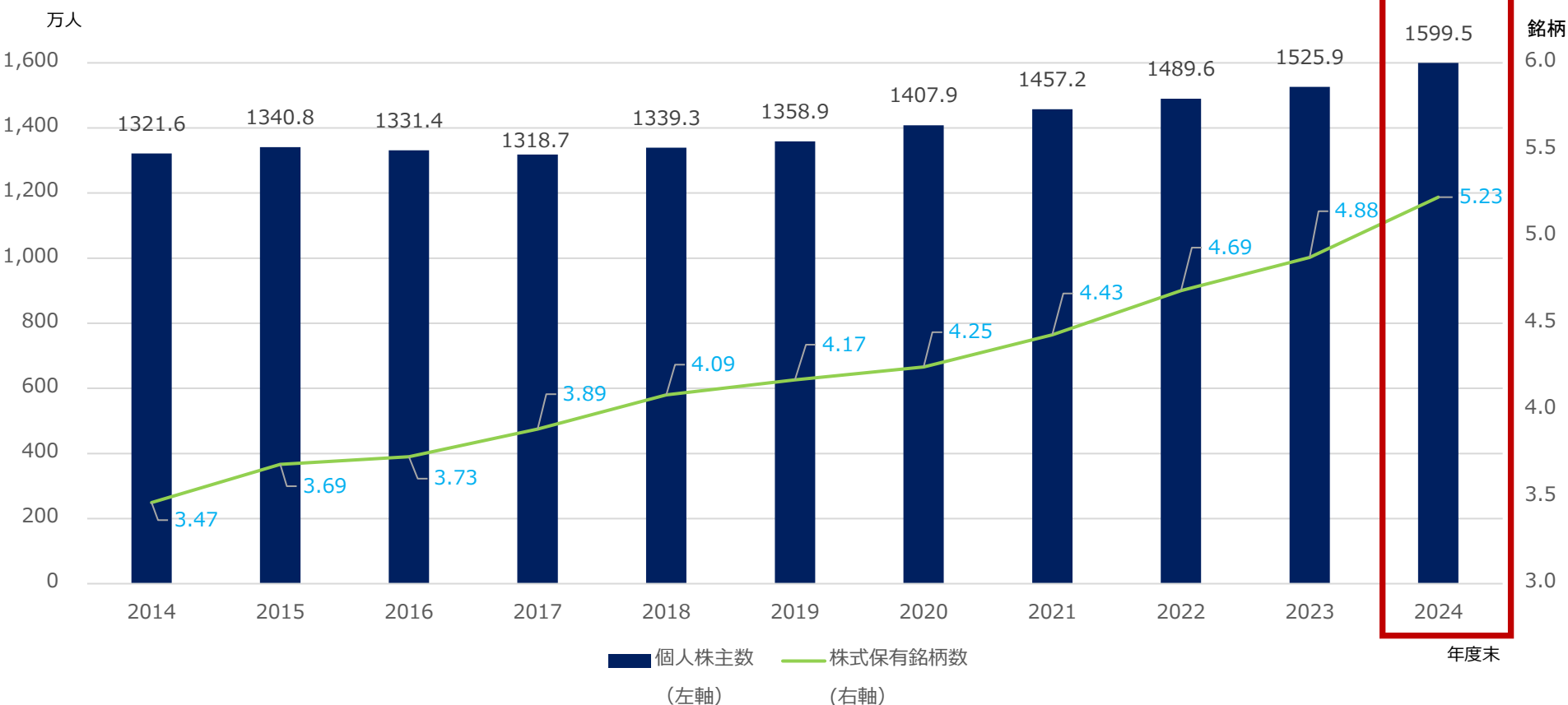
2. 個人株主数

2-1 個人株主数(名寄せ人数)・ 個人株主一人当たりの保有銘柄数

とう
10/4は
し
証券投資の日



- 2024年度末の個人株主数(名寄せ人数)は1,599万人となり、過去最高値を更新
- 個人株主(名寄せ人数)一人当たりの保有銘柄数は近年増加傾向にあり、2024年度末は5.2銘柄と、分散化が進んでいる



(注) 個人株主一人当たりの保有銘柄数は、個人株主数(延べ人数)【東証データ】(10頁参照)を個人株主数【保振データ】で除して算出。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」、証券保管振替機構「株式等振替制度 株式5 属性別株主数状況(人数)【6か月累計】」

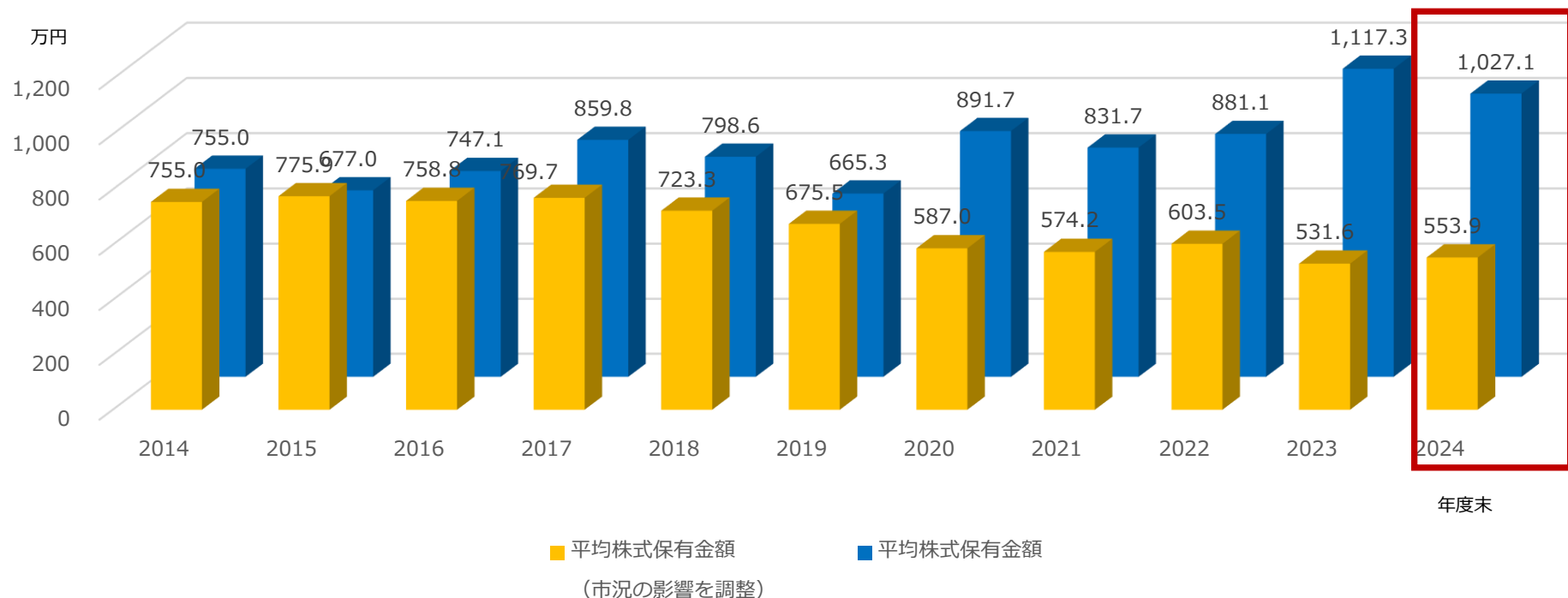
2-2 個人株主(名寄せ人数)一人当たりの平均株式保有金額の推移

とう
10/4は
証券投資の日



○2024年度の個人株主(名寄せ人数)一人当たりの平均株式保有金額は1,027万円

○市況の影響を調整した平均株式保有金額は553万円であり、個人株主数(名寄せ人数)が年々増加している中で、平均株式保有額は小口化傾向



(注) 1. 平均株式保有金額は、年度末の個人の株式保有金額残高(金額)【東証データ】を個人株主数【保振データ】で除して算出。

2. 平均株式保有金額(市況の影響を調整した推計値)は、個人の株式保有金額を2014年度末の日経平均株価を基準とした各年度の日経平均株価の騰落率で除して算出し(例えば日経平均株価が2倍になった場合は、株価上昇による株式保有金額の増加を排除するため2で除する)、調整後の個人の株式保有金額を個人株主数で除して算出。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」、証券保管振替機構「株式等振替制度 株式5 属性別株主数(人数)【6か月累計】」、日本経済新聞社

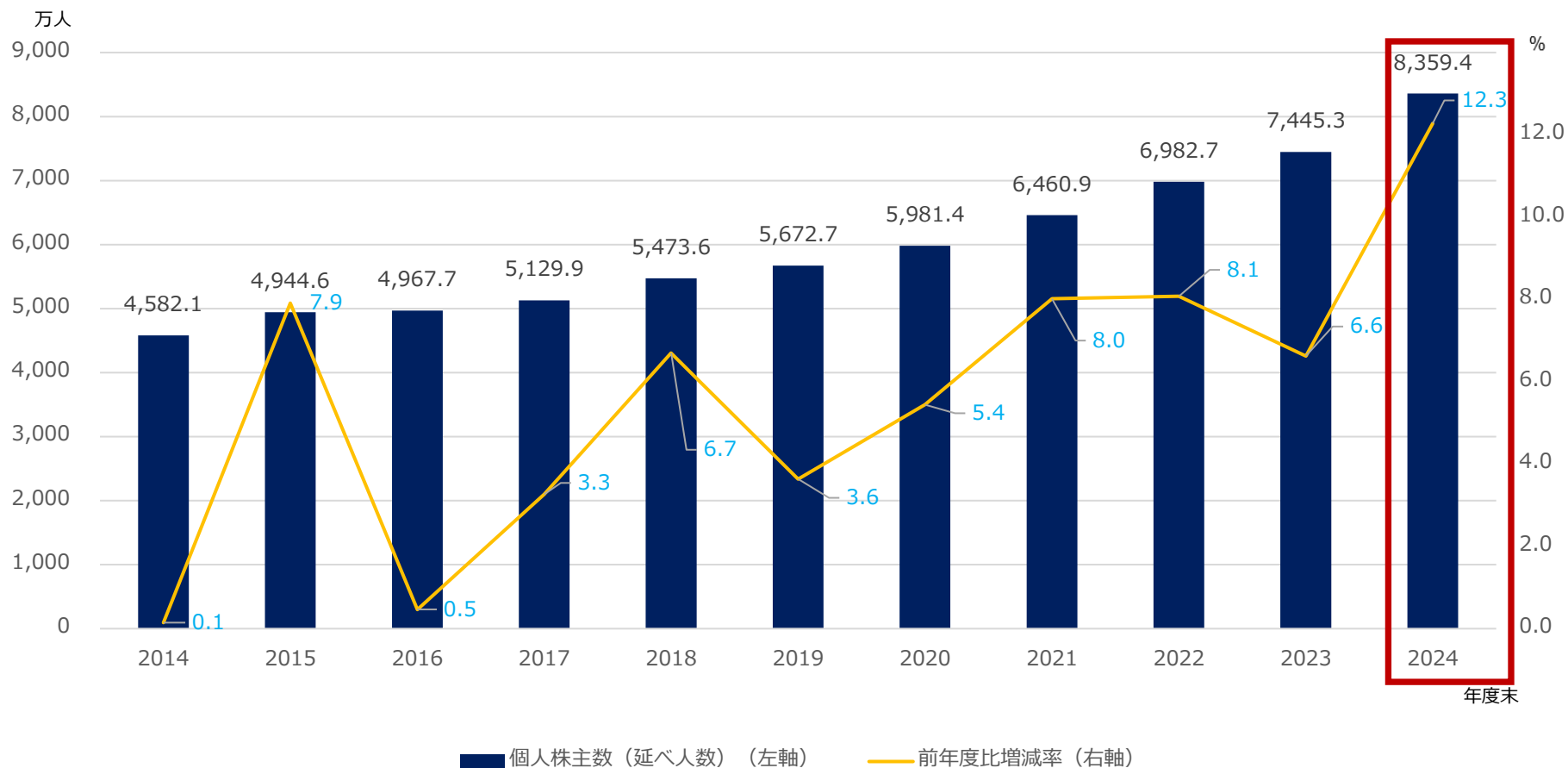
2-3 個人株主数(延べ人数)

とう
10/4は
証券投資の日



JSDA

○2024年度末の個人株主数(延べ人数)は8,359万人となり、過去最高値を更新

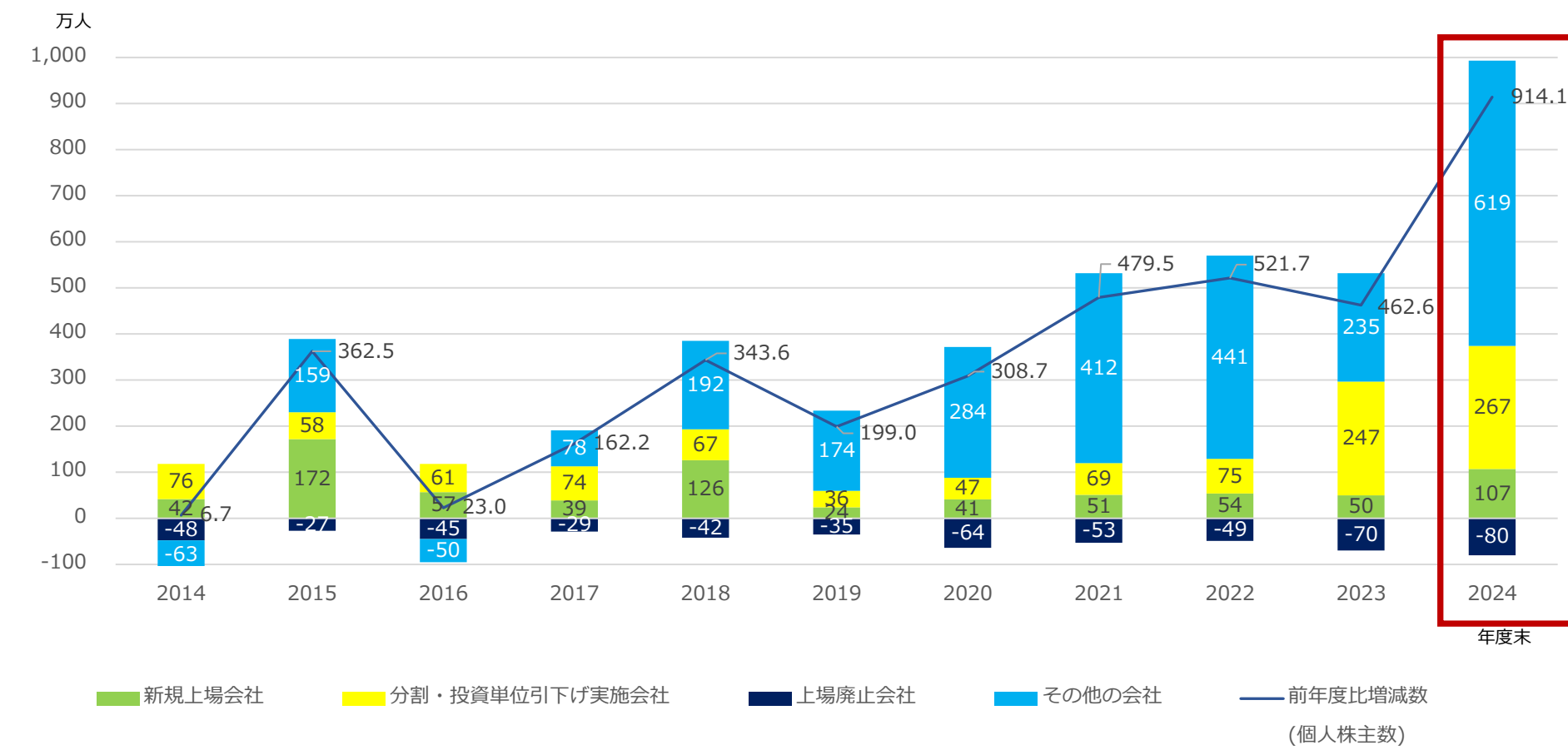


(注) 「個人株主数(延べ人数)」とは、各上場会社の個人株主数を単純に合算したものである。例えば、ある個人株主が1人で10銘柄保有している場合に、「株式分布状況調査」では銘柄間の株主の名寄せがされないため、個人株主数10名とカウントしている。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

2-4 個人株主数(延べ人数)増減の要因分析

○個人株主数(延べ人数)の増加要因をみると、2024年度は「その他の会社」において個人株主数が大幅に増加(619万人増)



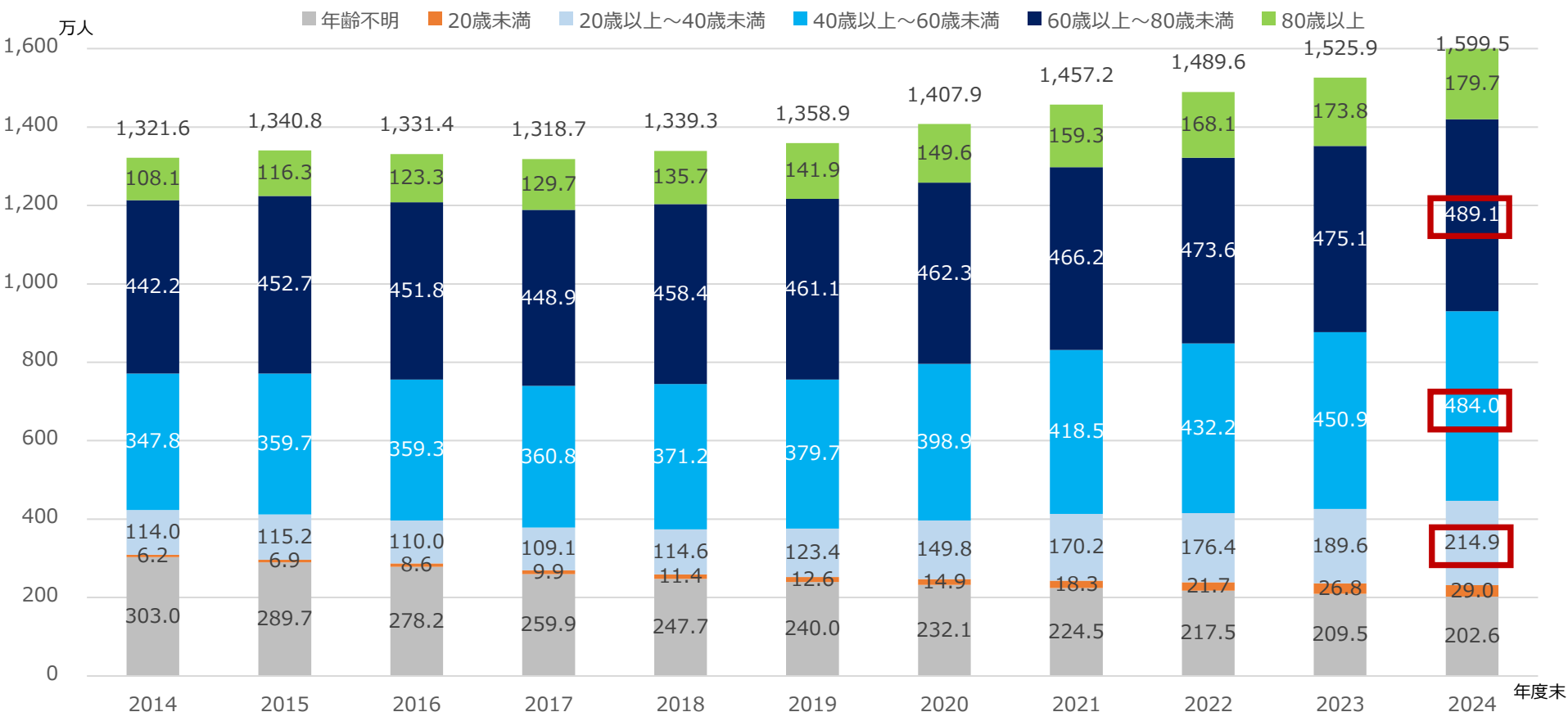
(注) 「個人株主数 (延べ人数)」とは、各上場会社の個人株主数を単純に合算したものである。例えば、ある個人株主が1人で10銘柄保有している場合に、「株式分布状況調査」では銘柄間の株主の名寄せがされないため、個人株主数10名とカウントしている。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

3. 年齢別の個人株主数

3-1 個人株主数の推移(年齢別人数)

○2024年度末の個人株主数1,599万人のうち、「20歳以上40歳未満」が初めて200万人を超えた
 ○上記個人株主数のうち、「60歳以上80歳未満」が489万人と最も多く、「40歳以上60歳未満」が484万人と続く。両者の差は年々縮小しており、今年度の差は僅か5万人(2014年度の差は94万人)となった



(注) 「年齢不明」は、株券電子化移行時に証券保管振替機構へ預託されていない株式等について、その時点の株式名義で上場会社が信託銀行等へ開設した特別口座であり、生年月日が把握できないため「年齢不明」としている。

(出所) 証券保管振替機構「株式等振替制度 株式7 年齢別株主数分布状況(人数)【6か月累計】」

とう し
10/4は
証券投資の日

とうしぐん

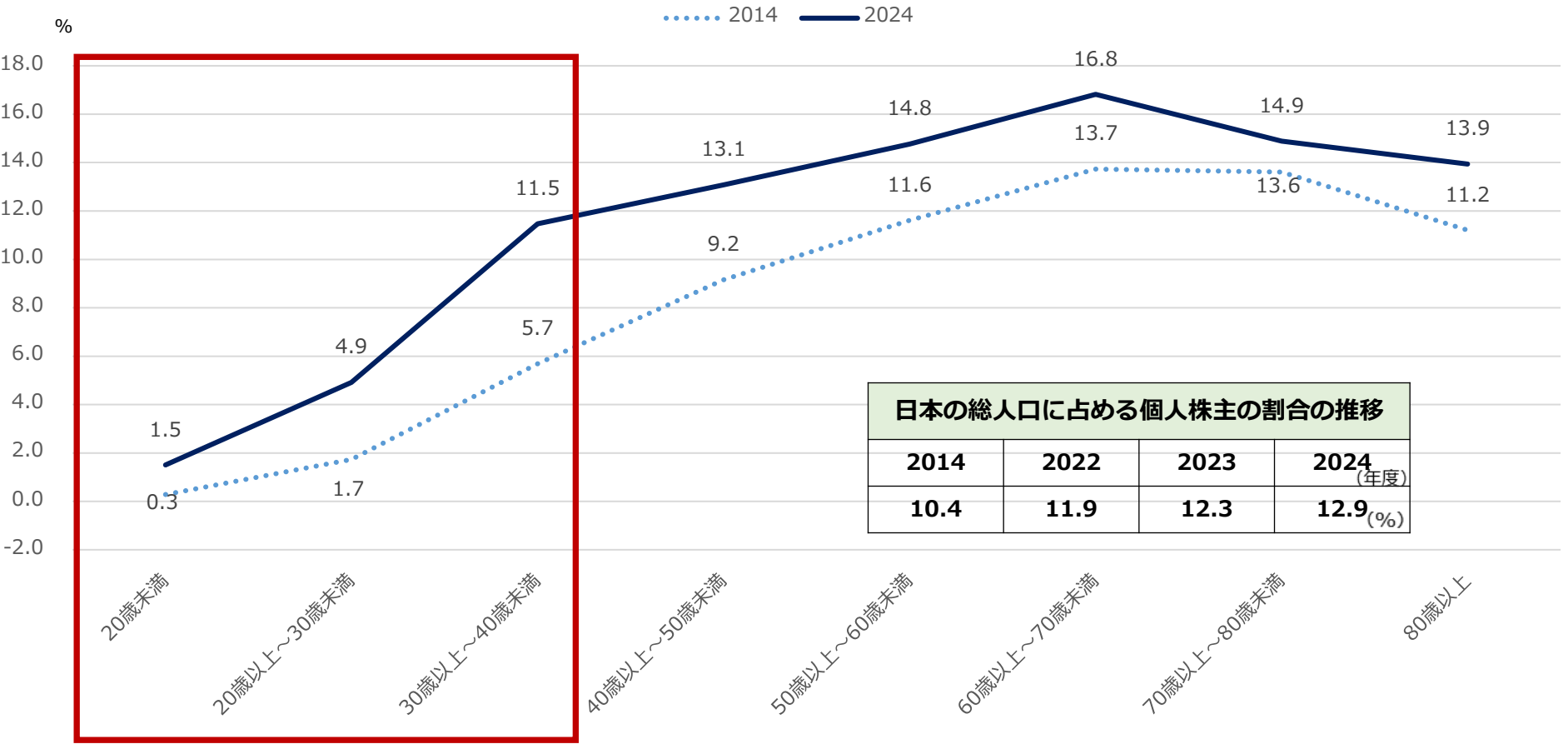
JSDA

Year	20歳未満	20歳以上～40歳未満	40歳以上～60歳未満	60歳以上～80歳未満	80歳以上	合計
2015	11.3	1.1	3.4	2.4	7.6	1.5
2016	24.6	-4.5	-0.1	-0.2	6.0	-0.7
2017	15.1	-0.8	0.4	-0.6	5.2	-1.0
2018	15.2	5.0	2.9	2.1	4.6	1.6
2019	10.5	7.7	2.3	0.6	4.6	1.5
2020	18.3	21.4	5.1	0.3	5.4	3.6
2021	22.8	13.6	4.9	0.8	6.5	3.5
2022	18.6	3.6	3.3	1.6	5.5	2.2
2023	23.5	7.5	4.3	0.3	3.4	2.4
2024	8.2	13.3	7.3	2.9	3.4	4.8

年度末

3-3 日本の総人口と個人株主の比較 (2014年度との比較(年齢区分別))

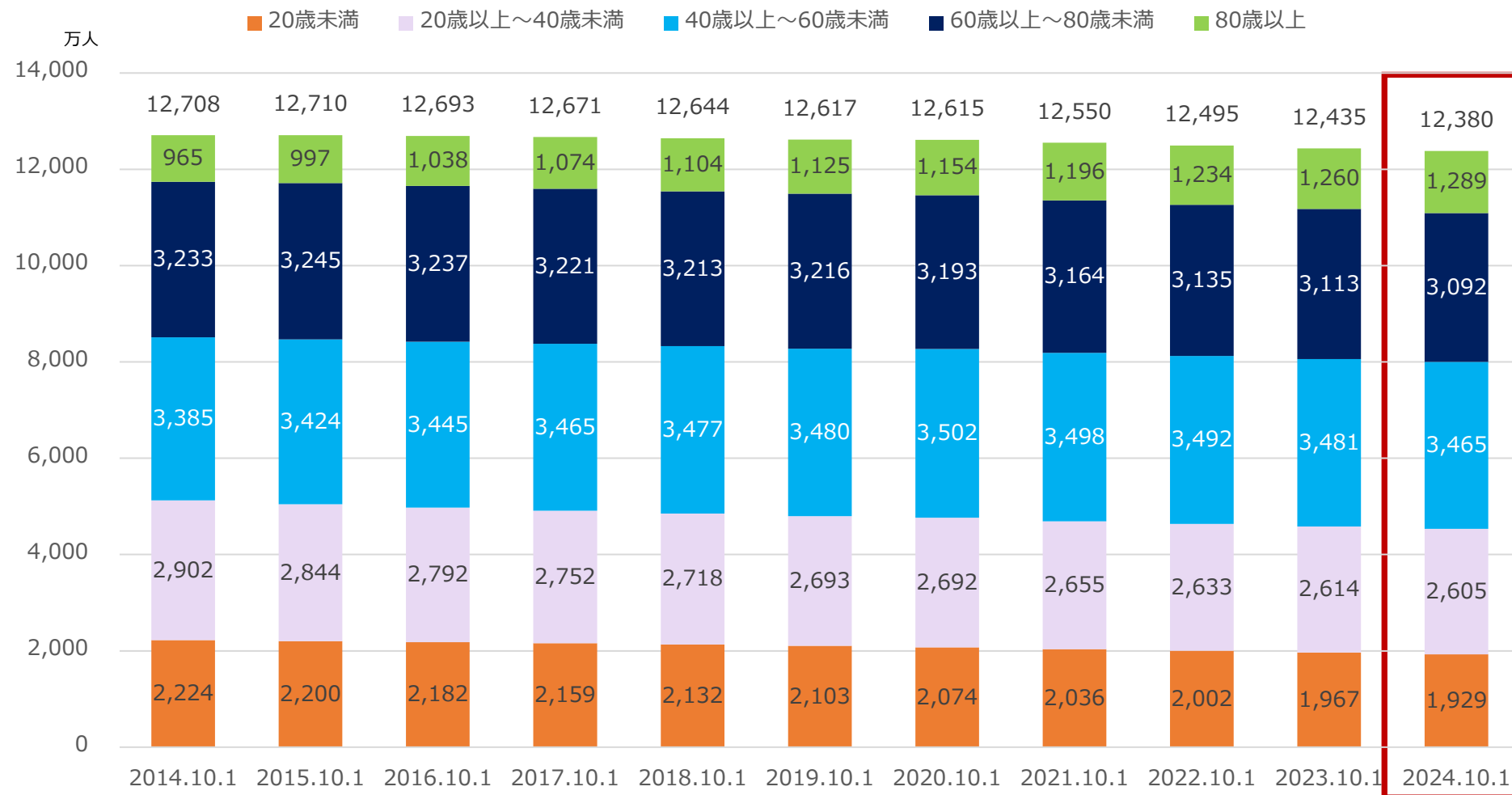
○日本の総人口(1億2,380万人)に占める個人株主(1,599万人)の割合は12.9%
○年齢が把握できている個人株主(1,396万人)については、2014年度との比較では、40歳未満の伸びが顕著



(注) 人口推計の数値は10月 1 日付のものであり、個人株主の数値は3 月末日 (年度末) の数値を用いている。
(出所) 総務省統計局「人口推計」、証券保管振替機構「株式等振替制度 株式 7 年 年齢別株主数分布状況 (人数)【6 か月累計】」

3-4 日本の総人口の推移

○日本の総人口は、年々減少傾向にあり、2024年10月1日時点で1億2,380万人



(注) 総務省統計局「人口推計」は千人単位で算出していることから年齢区分ごとの合計と、公表されている人口推計合計は一致しない。

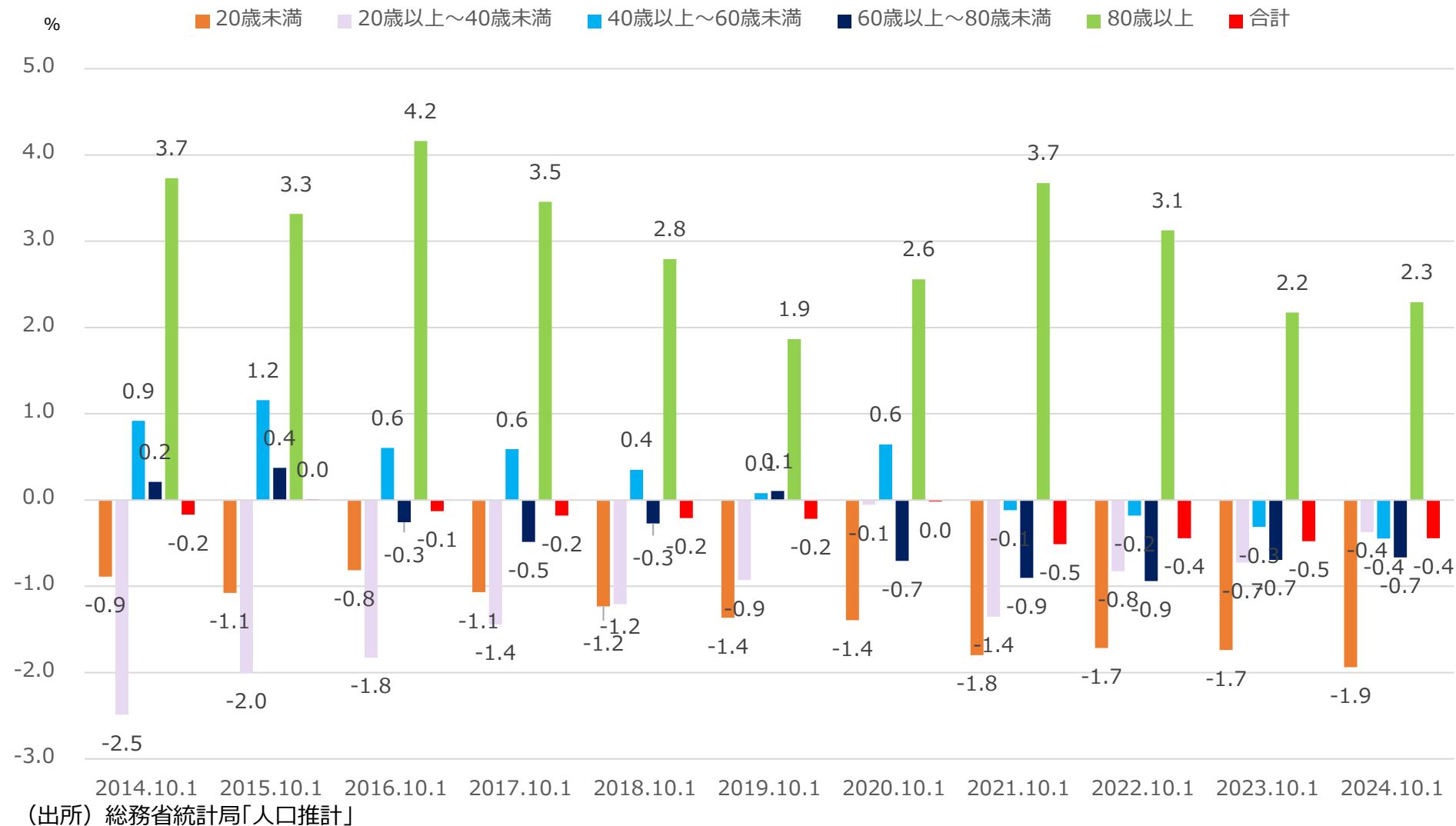
(出所) 総務省統計局「人口推計」

3-5 日本の総人口の推移 (年齢区分別の増減率)

とう
10/4は
証券投資の日



○日本の総人口(年齢区分別)は、80歳以上が増加



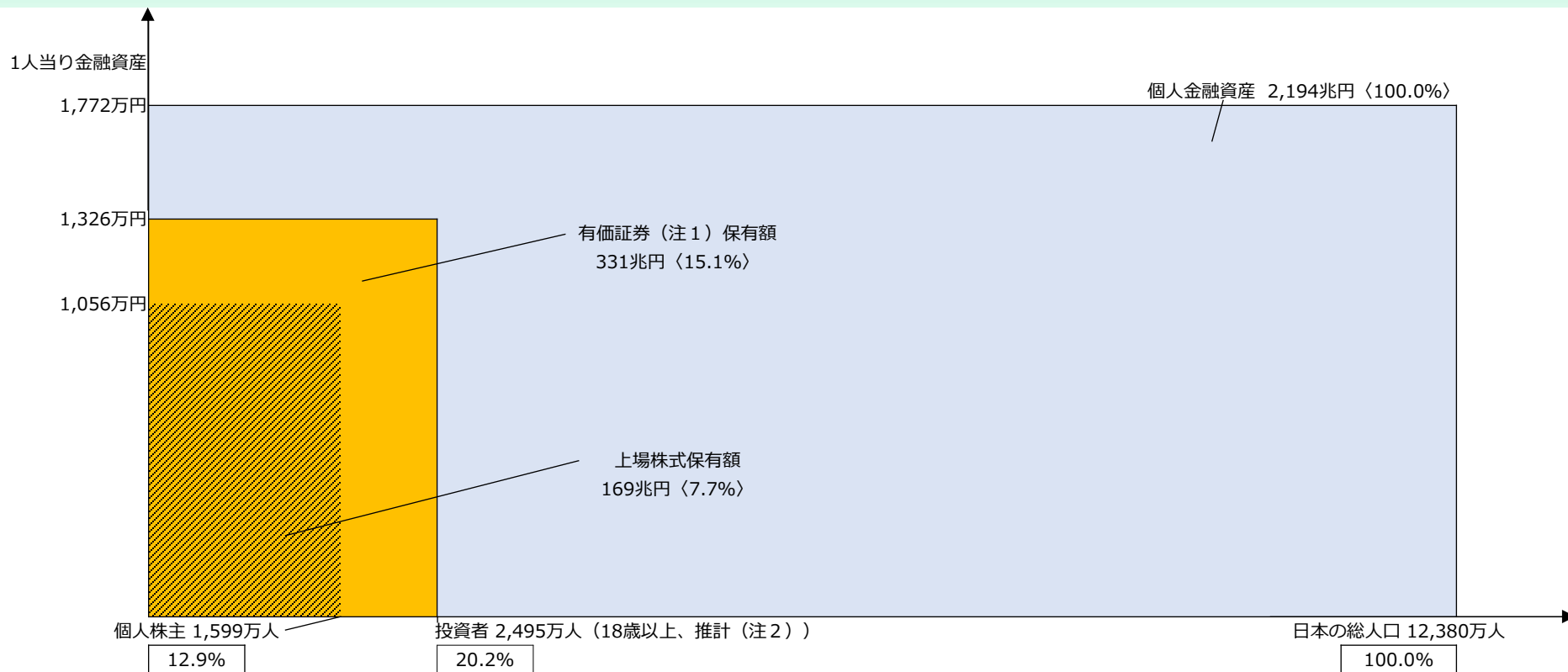
参考資料

【参考】国民の有価証券保有状況(2024年度末)

とう
10/4は
証券投資の日



- 2024年度末時点の個人金融資産(2,194兆円)のうちの有価証券の額は331兆円(15.1%)
- 有価証券を保有する投資者数(推計)は、2,495万人(総人口の20.2%)



(注) 1. 有価証券は、上場株式、債券、投資信託の合計。

2. データの制約上、有価証券の投資者の人数は、日証協の全国調査(以下)から推計している。投資者(2,495万人)は、日本の18歳以上の人口(10,353万人)に全国調査における有価証券保有者比率(24.1%)を乗じて算出。

(出所) 日本銀行「資金循環統計」(2025年6月27日公表データ)

証券保管振替機構「株式等振替制度 株式5 属性別株主数状況(人数)【6か月累計】」

総務省統計局「人口推計」

日本証券業協会「2024年度(令和6年)証券投資に関する全国調査(個人調査)」